

中小企業の経営戦略を学び・考える

— 中小企業の復活・再生・活性化を目指して —

日本の企業の約99%が中小企業であり、労働人口の大半は中小企業に勤めている人達である。また、戦後の日本経済の高度成長を支え、また地域経済を支えてきたのも中小企業であると言っても過言でない。だが、中小企業の現状は、経済活動・企業活動のグローバル化と日本経済の長期停滞の中で中小企業の活動の場が少なく悪戦苦闘している。

しかし、「企業家精神と機動力に富む」中小企業の特徴を活かした活躍の場を見出さなければ、日本経済・地域経済の活力・活性化は取り戻せない。日本経済・地域経済の活力・活性化を取り戻すためには、今こそ中小企業の「復活・再生・活性化」に向けての中小企業の属性・特性を活かした「経営哲学・経営理念の確立」と「経営戦略の策定」が求められている。

本講座は、中小企業の経営者・経営管理者・従業員および多くの関係者からの強い要望に応じて「中小企業の経営戦略を学ぶ・考える — 中小企業の復活・再生・活性化を目指して —」を主要テーマに、日本経済および地域経済を支える中小企業の復活・再生・活性化に向けて、「中小企業の活力を出すための経営戦略」について、ベテランおよび新進気鋭の先生方に、各々の専門分野の立場から論じてもらうことにする。

第1回 ▶ 2011年10月4日(火)

演題：中小企業の**経営哲学と経営戦略**を
学び・考える
— 新時代に持続可能な経営哲学と経営戦略で —

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授
藤永 弘

第4回 ▶ 2011年11月1日(火)

演題：中小企業の**経理戦略**を学び・考える
— 中小会社の会計指針を中心に —

講師：青森公立大学准教授 金子 輝雄

第2回 ▶ 2011年10月11日(火)

演題：中小企業の**資金調達**を学び・考える
— 損益・収支状況の改善による内部金融の
充実と外部金融の可能性 —

講師：青森公立大学教授 落合 孝彦

第5回 ▶ 2011年11月15日(火)

演題：中小企業の**事業継承戦略**を学び・考える
— 新しい時代の事業継承の在り方を
中心に学ぶ —

講師：行政書士法人アースフィールド代表社員・
行政書士 藤永誠一郎

第3回 ▶ 2011年10月18日(火)

演題：中小企業の**管理会計戦略**を学び・考える
— キャッシュフロー経営を中心に —

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授
藤永 弘

第6回 ▶ 2011年11月22日(火)

演題：中小企業の**海外進出戦略**を学び・考える
— 中国の巨大市場への進出に向けて —

講師：株式会社アサブ合同事務所代表取締役
香港 JOIN PEAK DEVELOPMENT LIMITED
Director 行政書士 日影 恒次

受講料 ▶ **無料**

第7回 ▶ 2011年11月29日(火)

演題：中小企業の**ロシア市場進出戦略**を
学び・考える

— 勝てる商品群と一緒に進もう —
講師：青森公立大学教授 丹野 大

いずれの回も

時間：18時30分～20時30分

場所：アウガ5階
青森市男女共同参画プラザ研修室

対象：一般の方 定員：50名程度

申込方法

開催日前日（必着）までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、郵便、FAXまたはE-mailでお申込みください。

郵便送付先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4 青森公立大学地域研究センター公開講座係

FAX送信先：017-764-1564

E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp

主催 ▶ **青森公立大学**

電話 ▶ **017-764-1561** URL ▶ <http://www.nebuta.ac.jp/>



この講座は、あおもり県民カレッジの単位として認められます。

※あおもり県民カレッジ単位認定講座各2単位(計7回)

中小企業の 経営戦略を 学び・考える

中小企業の復活・再生・
活性化を目指して

第1回 ▶ 2011年10月4日 火

演題：中小企業の経営哲学と経営戦略を
学び・考える

－新時代に持続可能な経営哲学と経営戦略で－

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授

藤永 弘

現代社会は、グローバル化の波に乗れない経済・産業、国家・地方財政赤字の増大、少子高齢化・人口減少など多くの課題が山積している。さらに東日本大震災・福島原発事故により日本経済は厳しい状況に置かれている。このような経済状況の中で中小企業はいかなる「経営哲学」を持ち、いかに対処すべきか、どのように立ち向かうべきか中小企業の「経営戦略」について学び・考える。

第2回 ▶ 2011年10月11日 火

演題：中小企業の資金調達を学び・考える

－損益・収支状況の改善による内部金融の
充実と外部金融の可能性－

講師：青森公立大学教授 落合 孝彦

本講座では、中小企業の財務データ観察を通して、「資金調達力を高める財務実践とは何か」について考えることに主眼を置く。増益の達成こそが営利企業最大の関心事ではあるものの、資金余裕度の向上を念頭に置く場合、損益だけでなく収支についても注意を払う必要がある。経常的な資金収支の改善をはかることが、「資金調達力」全般を高める上での効果的な方法であることを学び・考える。

第4回 ▶ 2011年11月1日 火

演題：中小企業の経理戦略を学び・考える

－中小会社の会計指針を中心に－

講師：青森公立大学准教授 金子 輝雄

グローバル化時代に入り、会計の国際化が急速な勢いで進んでいる。これは国際的に経営活動を行う公開企業（上場企業）を前提としたものである。同時に、中小企業の特長・属性を反映した会計基準として「中小会社の会計指針」が公表されている。この中小企業の会計基準の特長・内容を踏まえながら、厳しい経営環境の中でのこれからの「中小企業の経理戦略」について学び・考える。

第6回 ▶ 2011年11月22日 火

演題：中小企業の海外進出戦略を学び・考える

－中国の巨大市場への進出に向けて－

講師：株式会社アサブ合同事務所代表取締役

香港 JOIN PEAK DEVELOPMENT LIMITED

Director

行政書士 日影 恒次

現代社会は、「人・物・金・情報」が国境を越えて自由に移動するグローバル化時代である。中小企業の生存領域・発展領域は、国内のみならず海外に見出すことが出来る。よって、中小企業の「海外進出・海外展開・海外取引」について、「世界の工場」であると共に「世界の巨大マーケット」でもある中国を中心に学び・考える。

第3回 ▶ 2011年10月18日 火

演題：中小企業の管理会計戦略を学び・考える

－キャッシュフロー経営を中心に－

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授

藤永 弘

現在多くの中小企業は、「資金繰り表」等を用いて資金管理を行っている。この方法は資金収支の均衡を図ることが目的で、資金の効率的な運用状況や資金の創出能力に関する情報は得られない。「キャッシュフロー計算書」を用いることにより企業活動に必要な「運転資金」や「設備資金」の管理が可能となる。経営者の経営戦略の策定に重要な情報を得ることが出来る「キャッシュフロー経営」について学び・考える。

第5回 ▶ 2011年11月15日 火

演題：中小企業の事業継承戦略を学び・考える

－新しい時代の事業継承の在り方を
中心に学ぶ－

講師：行政書士法人アースフィールド代表社員・

行政書士 藤永誠一郎

中小企業を取り巻く経済環境が厳しい時代を迎えて、中小企業の持続的維持・存続のための事業継承の問題が緊急の課題となっている。特に、中小企業が有する固有の属性・特性から創出・蓄積した「技術力」、「営業力」、「信用力」等の知的財産を含めた「事業継承戦略」、「事業継承方法・手続き」を学び・考える。

第7回 ▶ 2011年11月29日 火

演題：中小企業のロシア市場進出戦略を
学び・考える

－勝てる商品群と一緒に進もう－

講師：青森公立大学教授 丹野 大

いま、ロシアでは空前の「日本食ブーム」である。そこで「ロシア市場（モスクワ/ハバロフスク）」へ青森県産食品群（青森リンゴやスタミナ源たれ等）を輸出してみた。とりわけ2006年からのこの6年間に行った輸出事業を通じて、「勝てる商品群」が判明してきた。それらの発見から「中小企業のロシア市場進出戦略」を学び・考える。